

大規模実証説明会

Chemical and circular Management Platform
製品含有化学物質・資源循環情報プラットフォーム

大規模実証の計画ご説明

2026年1月14日/16日

CMPコンソーシアム
事業企画委員会
実証推進アドホック



アジェンダ



2026年1月14日（水）/16日（金）14:00～16:00(Max) @webex webiner

※) 両日とも同じ内容となります

- | | |
|--------------------|-----|
| 1. CMPの概要 | 30分 |
| 2. 大規模実証の目的 | |
| 3. 検証の進め方 | 30分 |
| 4. 検証する業務要件 | |
| 5. アプリケーションの選択について | |
| 6. 事前準備について | |
| 7. 大規模実証スケジュール | |
| 8. 参加申込要項 | |
| 9. Q&A | 30分 |

はじめに



CMPコンソーシアムは、2026年9月からのCMP利用開始に向け、多くの企業様にCMPアプリケーションを体験頂き、利用頂くことが普及拡大のために重要なポイントであると考えております。
大規模実証の大まかな計画をご理解頂くことで参加申込して頂き、その参加申込状況により、大規模実証の進め方をより具体化していくために、本計画説明会を開催いたします。

ご聴講頂く皆様におかれましては、CMP大規模実証の意義をご理解頂き、CMPを社内に導入するための社内調整や取引先との準備を開始頂くきっかけとなることを期待しております。

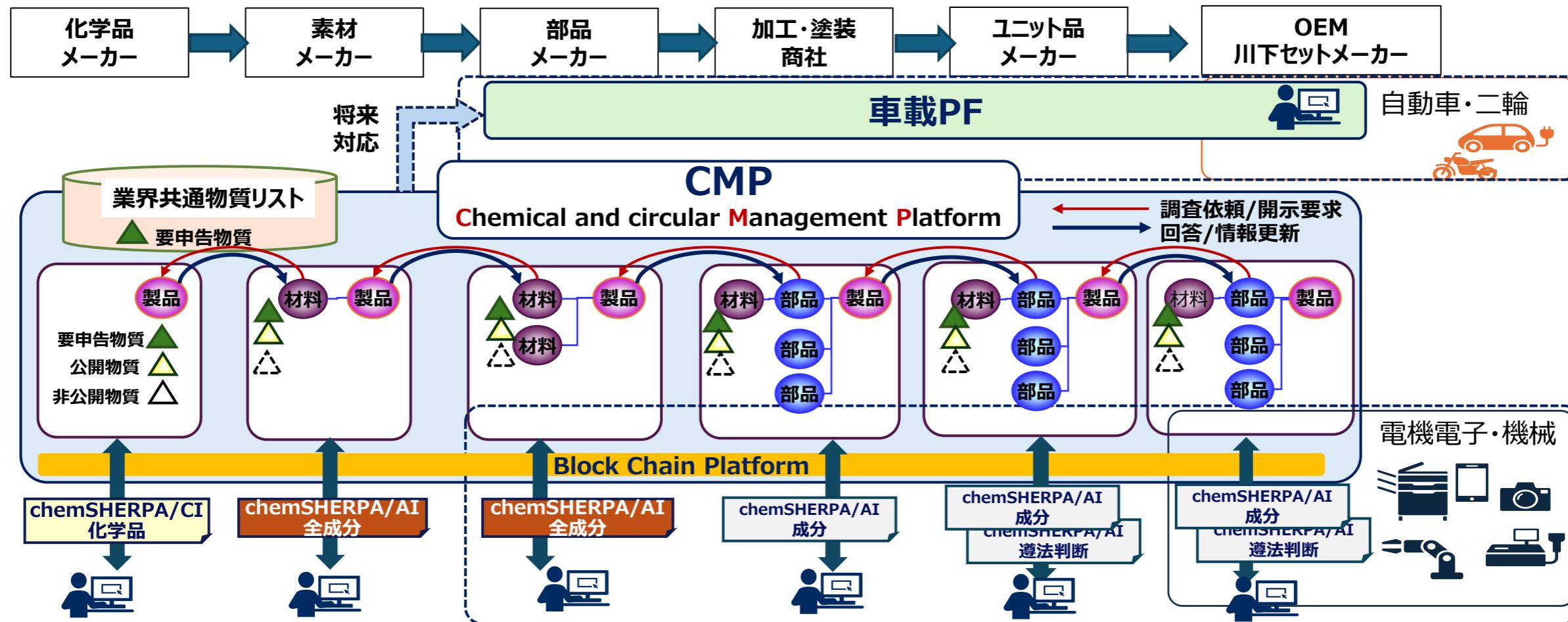
これを機会にCMPの利用開始を進めて頂けるようお願い申し上げます。

CMPコンソーシアム

1. CMPの概要

CMPとは

- ・ 化学品から素材、部品、最終製品に至るまでの含有化学物質及び資源循環情報をシステムで伝達する仕組み
- ・ 既存のIMDS（以下、車載PF）やchemSHERPAと共に存しながら、情報の信頼性担保、人の作業の極小化 情報伝達スピードの向上を狙うものです。



CMPアプリケーション

- ✓ CMPは、ウラノス・エコシステムのアーキテクチャーに従い、CMP基盤とCMPアプリケーションの組み合わせで構成します
- ✓ CMPアプリケーションは、複数のベンダーがその特長を生かし業務システムを提供し、CMPでの情報伝達を行います

<CMPにつなぐための方法>

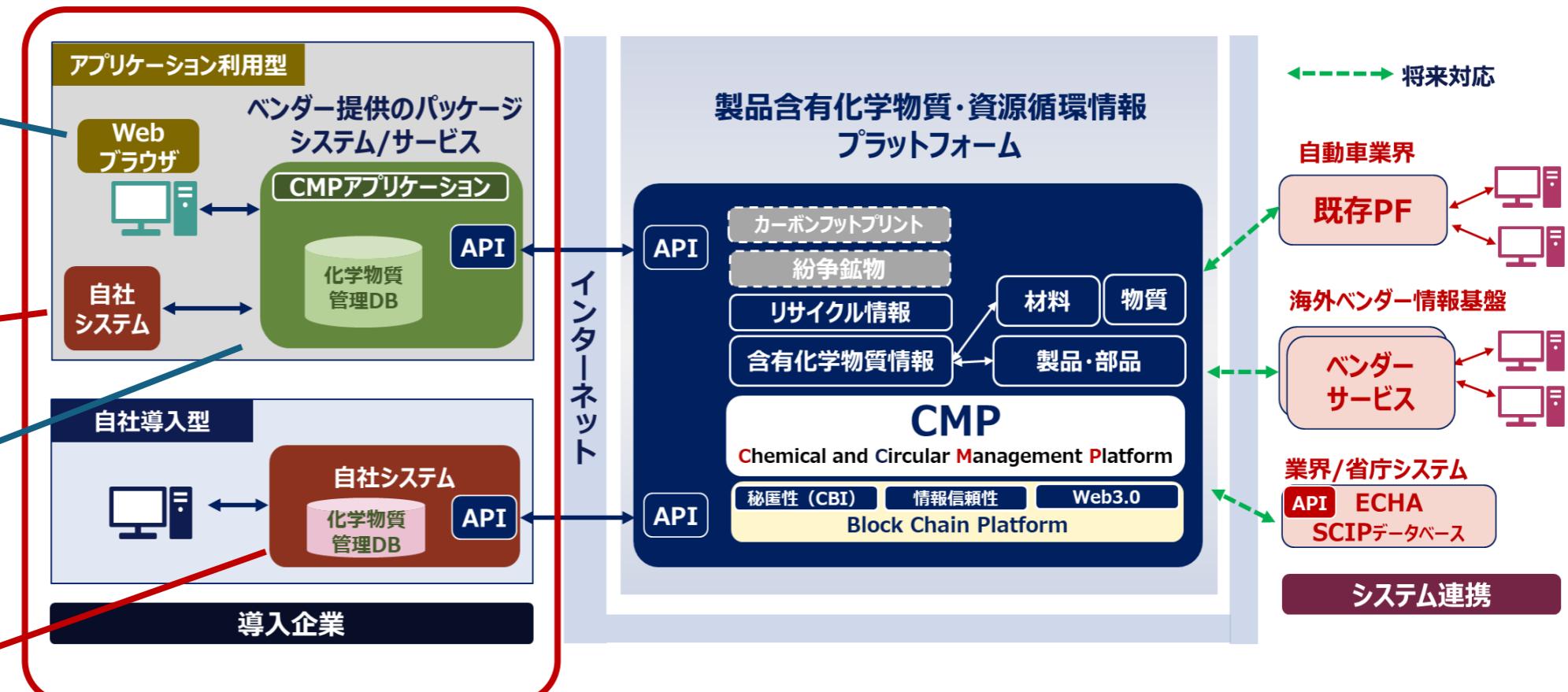
① CMPアプリケーションのクラウドサービスを活用し、自社にシステムを持たずに、Web経由で利用する

② CMPアプリケーションの接続機能を活用し、一部自社システムと連携しながら利用する

③ CMPアプリケーションを自社PKGとして導入し利用する

④ 自社システムをCMP基盤に直接接続する

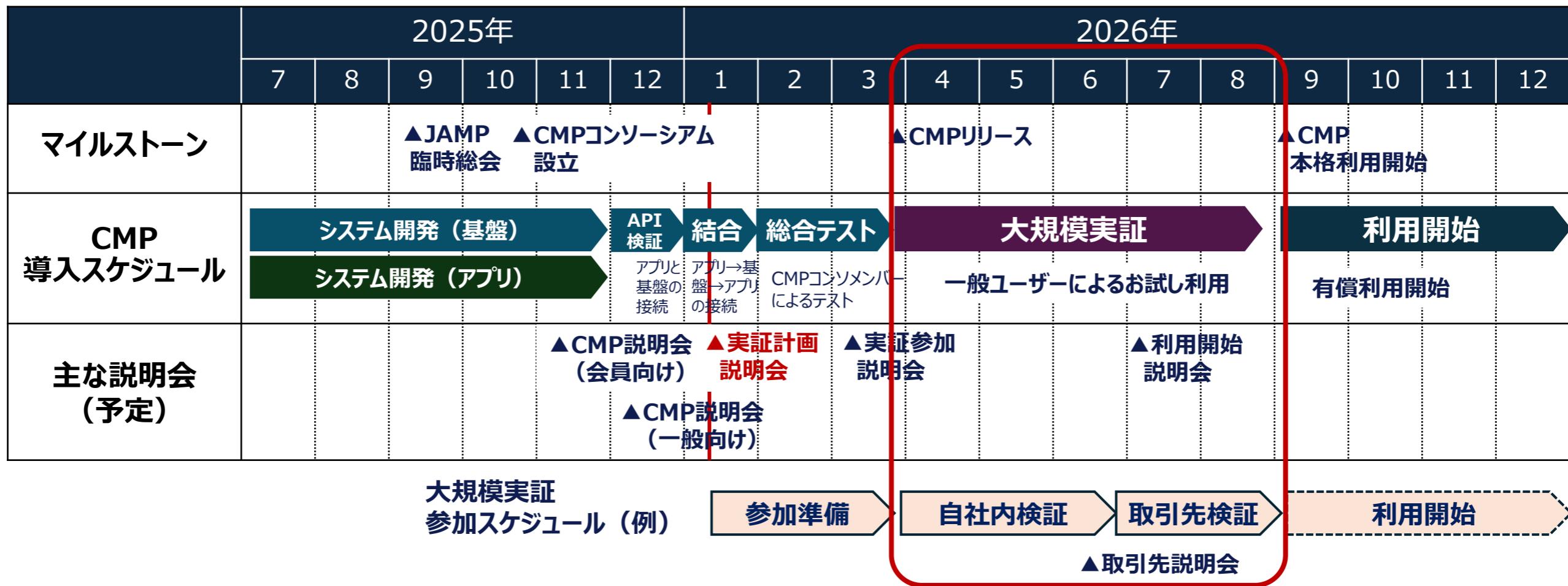
大規模実証でお試しいただくアプリケーション



クラウドサービスまたはパッケージシステムでのご提供となります

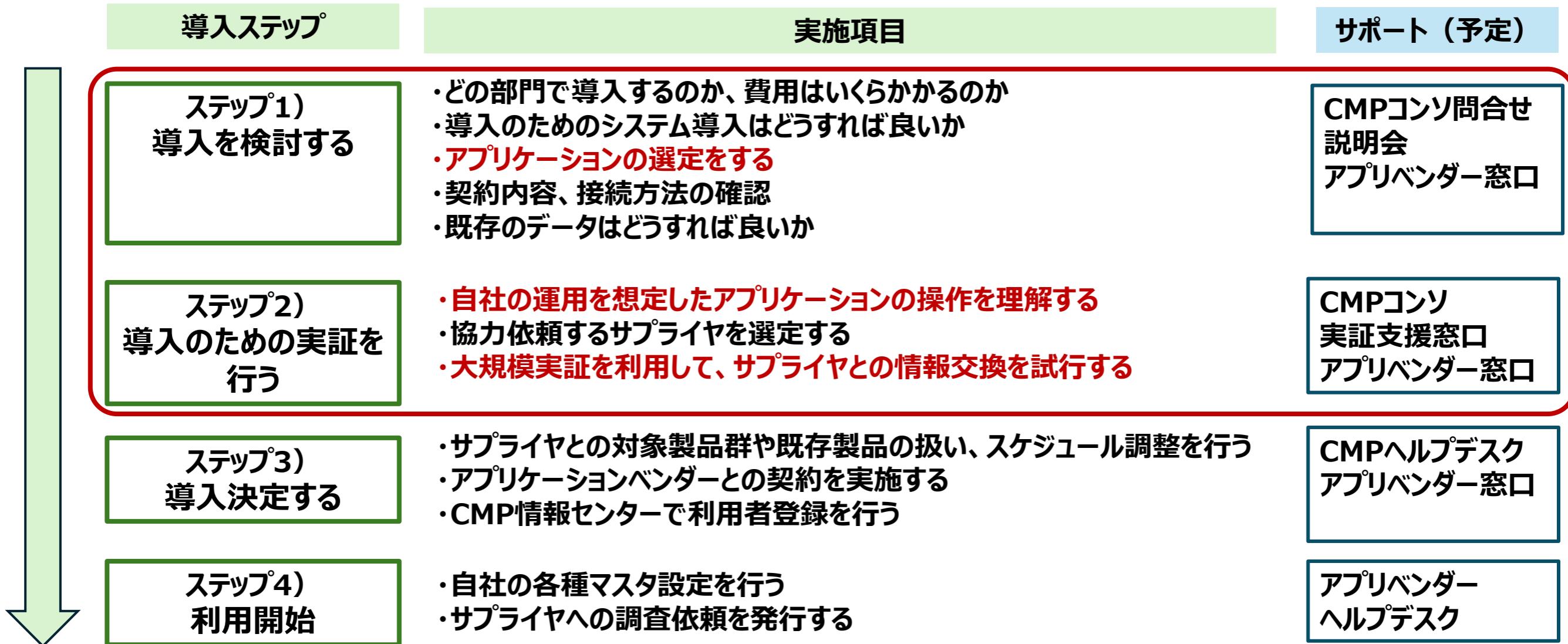
開発スケジュールと大規模実証

2026年1月末までにベンダー間テストを終えて、3月末までの総合テストでCMPタスクフォースにて企画したシステム要件が実装されていることを検証します。CMPコンソーシアムで動作確認が完了したシステムを、4月からの大規模実証でお使い頂くことになります。総合テスト状況は、3月に予定している「参加説明会」でお伝えいたします。



CMP導入手順と大規模実証での確認点

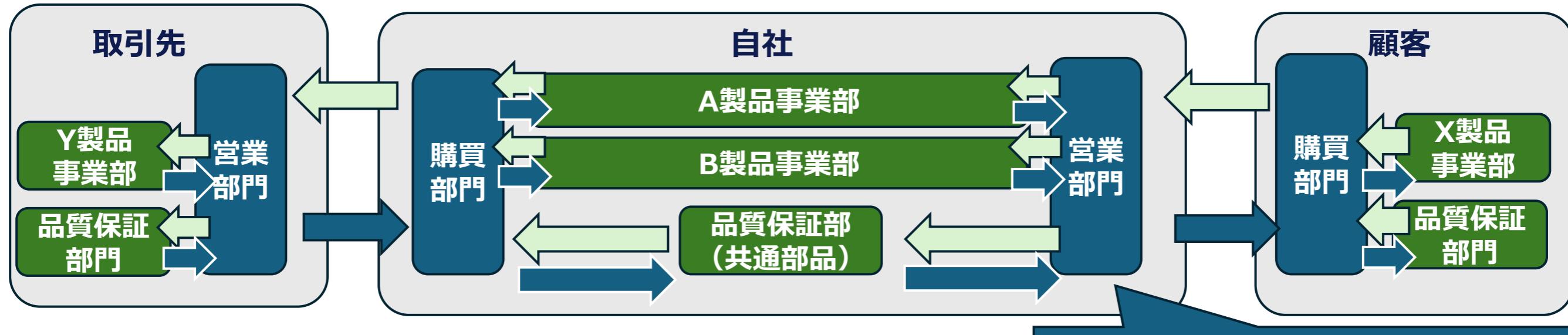
導入検討から、CMP導入までの流れは、以下のような流れになります。



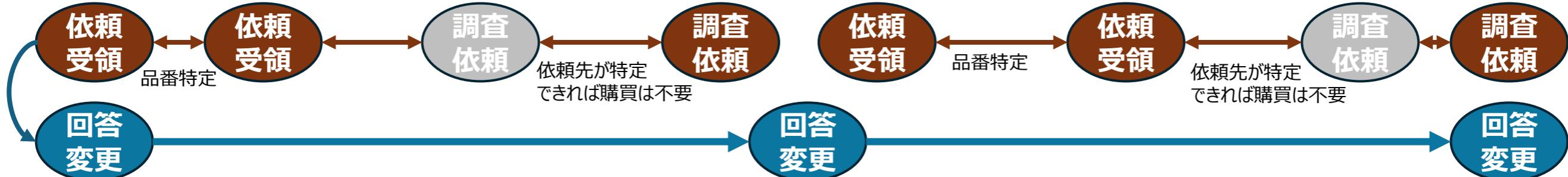
CMPで変わる社内プロセス

CMPではメールでの依頼プロセスを改善し、社内の情報伝達プロセスも簡略化できる

<現状の情報伝達業務イメージ>



CMPになると調査依頼・受領が成立すれば、変更情報は必要な部署だけ経由で良い

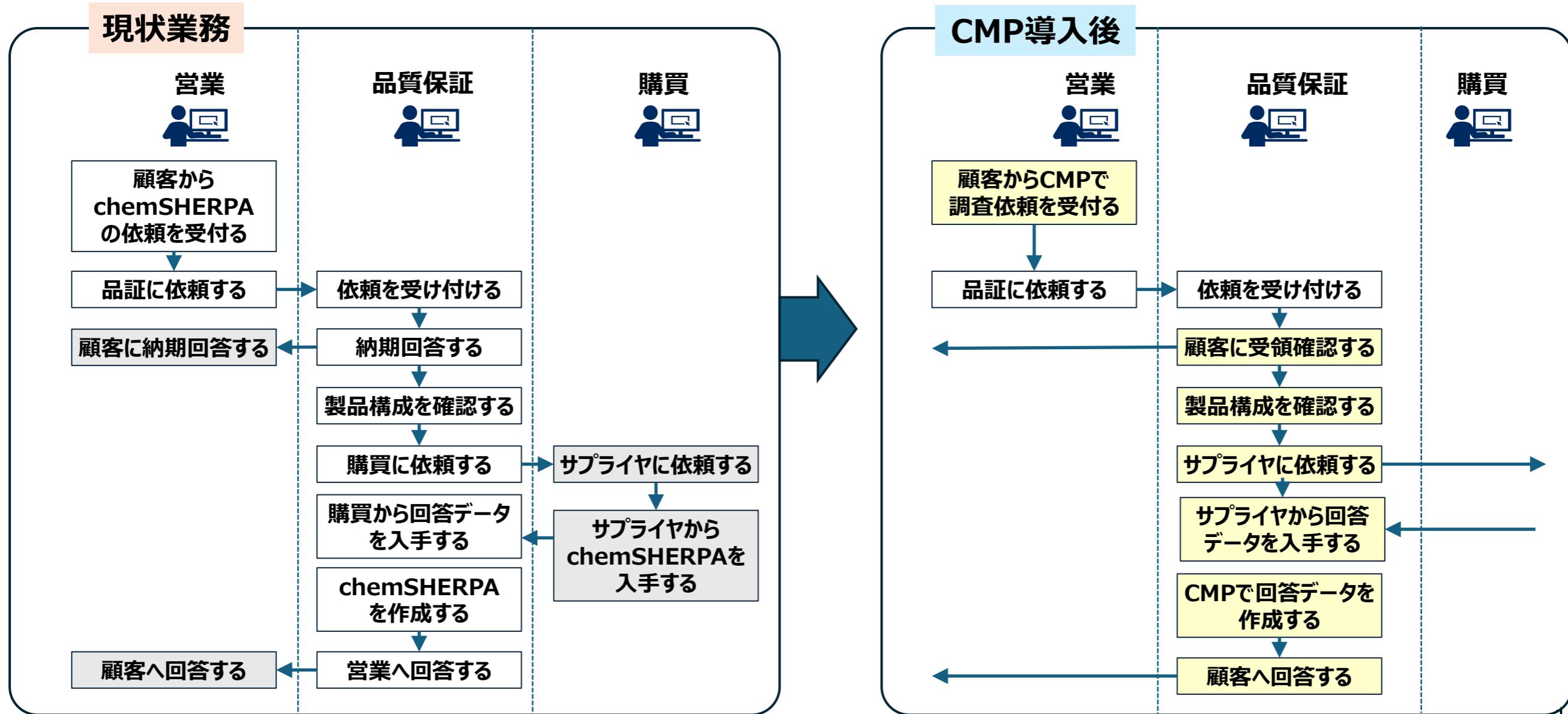


CMPのメリットを検証 「調査依頼～回答受領」

現状から無くなる業務

CMPで行う業務

営業、購買の業務を極小化（省略）し、品質保証部門の業務効率化も実現する

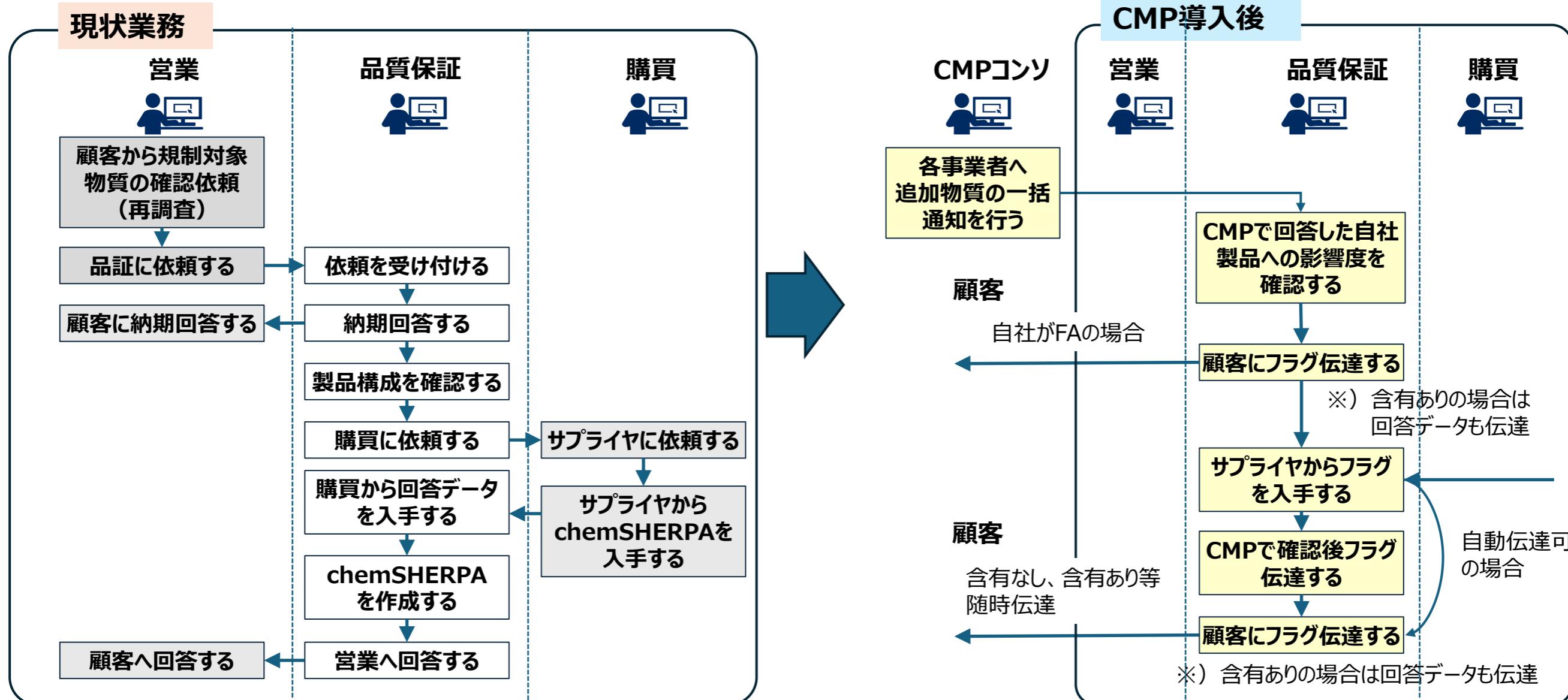


CMPのメリットを検証 「規制変更」

現状から無くなる業務

CMPで行う業務

規制変更時には過去に回答した製品についての情報更新が行われる。この際、営業・購買は関与しない。



大規模実証での検証ポイント

机上の効率化イメージを描き、アプリケーションでの検証を通して、本番利用の価値検証を行う

1. 現状の業務フローにCMPの情報伝達業務を組み込むことの検討（机上で仮説検証）

- ・CMPでの情報伝達に関し、顧客数・サプライヤ数を増やすことで、効率化が実現できることを確認する
(効率化は、営業部門、購買部門の業務の低減、品証部門の手作業の削減を含む)

2. アプリケーションの操作を体験し、業務遂行に必要な手順の確認（実際にシステムで操作検証）

- ・既存システムとの連携イメージ、既存データの活用方法の確認
- ・アプリ操作を通じて業務として成立するか
- ・アプリの操作性、不足機能の確認

3. サプライヤとのやり取りの実現性検証（オプション）

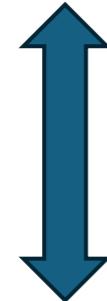
- ・重点サプライヤの選定
- ・サプライヤとの情報交換により、サプライヤ側との情報交換が問題なく実現できるかの検証
(取引先の依頼先部門の認識可能か、依頼者品番と提供者品番の紐づけ可能か、など)

2. 大規模実証の目的

大規模実証の目的

9月からのCMP本格利用にあたって、アプリケーションの選択を行い、自社での運用の実現可能性の検証を行うこと

アプリケーションの選択



- ① 自社の業務にFITするアプリケーションか
- ② 既存業務との親和性はあるか
自社システムとの連携、既存データの活用など
- ③ サプライヤとのやり取りは妥当か
(サプライヤ側の操作を含む)

運用の実現可能性の検証



- ① 部門間の業務分担は可能か
(CMPを取り込んだ業務フロー検証)
- ② 自社としての効率化は実現可能か
(CMPのメリットの検証)
- ③ CMP導入にあたっての計画の立案

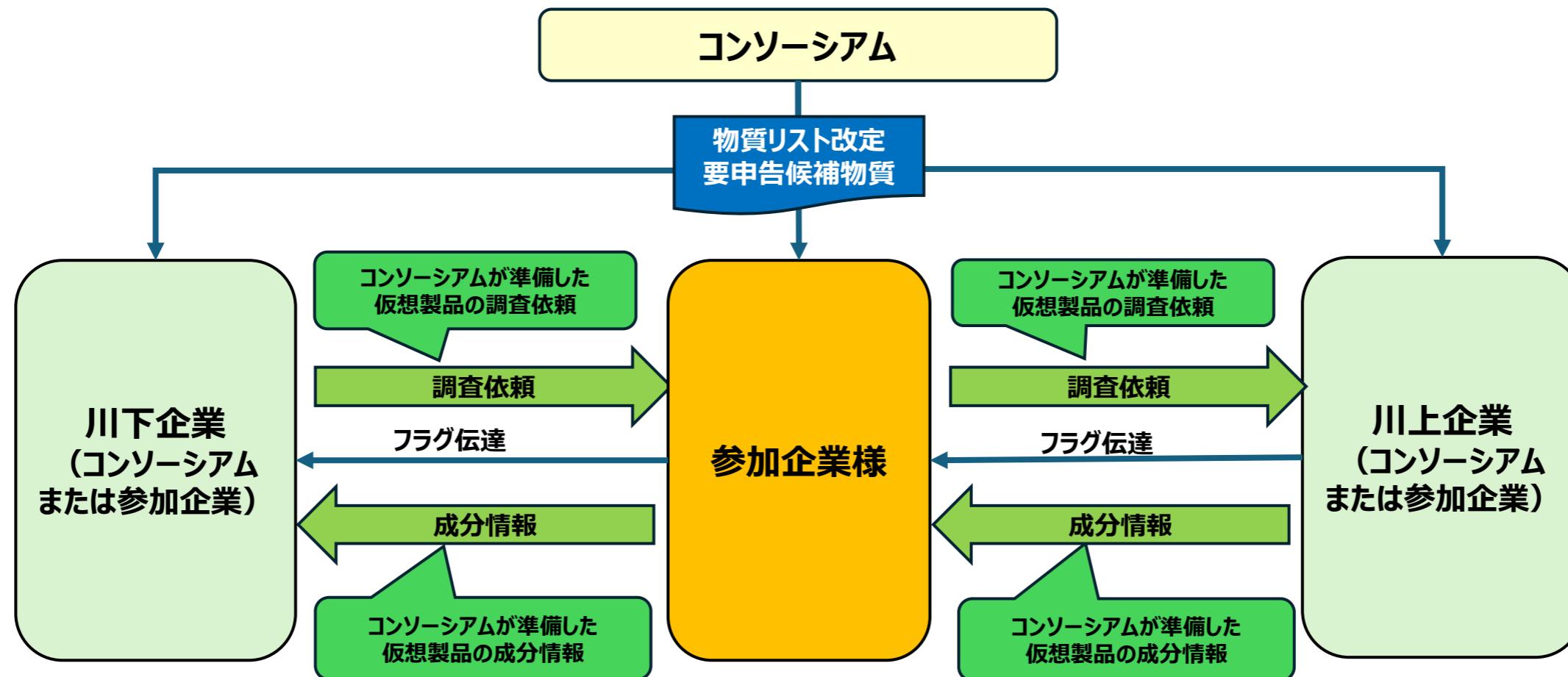
本番利用 (利用ステップ、拡大計画に基づく利用開始)

3. 検証の進め方

パターン① 自社単独での検証

自社単独で参加し、情報交換先（取引先、顧客）は、コンソーシアム企業または、参加企業との情報交換を行う

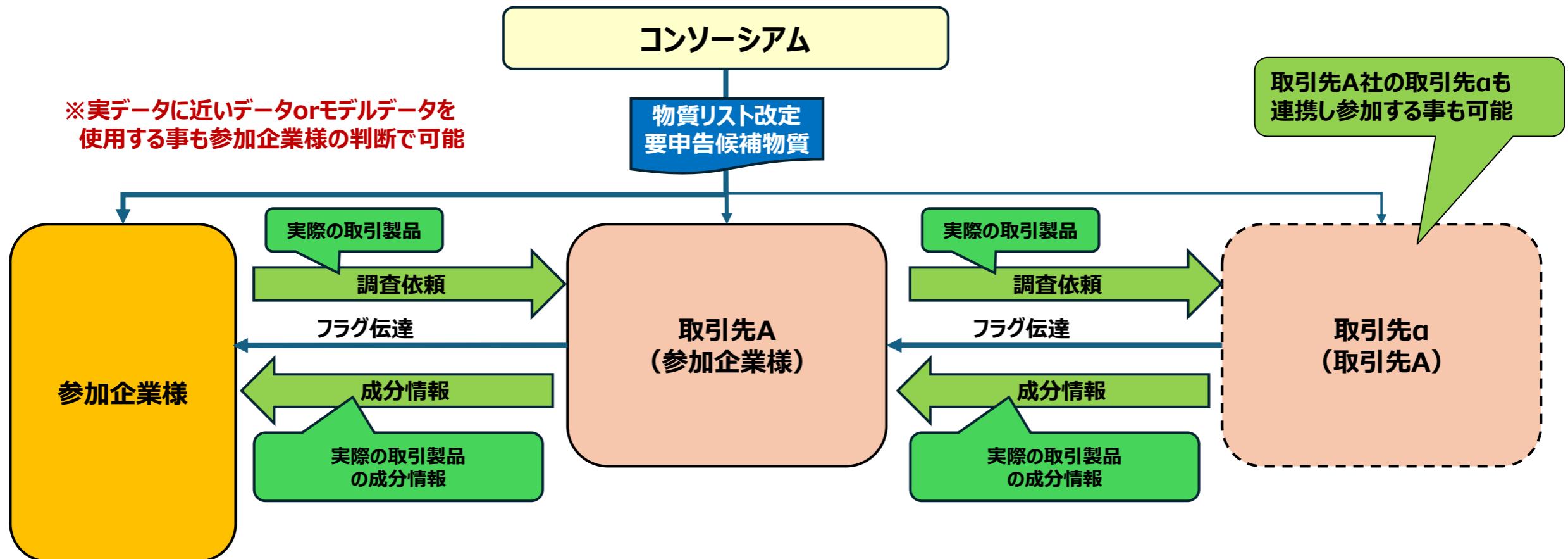
- ・コンソーシアム企業は仮想企業として、川上、川下の企業を用意。製品・部品も仮想のものを準備
- ・参加企業は、企業名公開可として参加した企業との情報交換が可能



パターン② 取引先と共同での検証

自社から声かけした取引先または顧客と共同で参加し、情報交換を行う

- ・取引先と共同で参加し、実際の製品・部品・材料での情報交換を行う
- ・取引先のさらに先の企業とも共同参加することが可能



4. 検証する業務要件

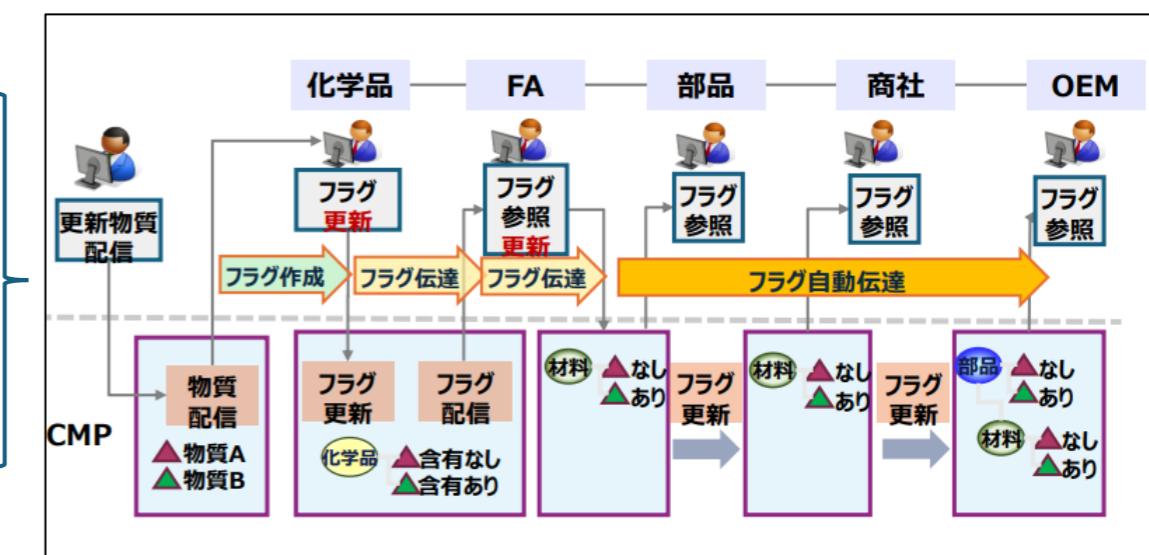
検証する業務要件（1/2）

大規模実証で検証する業務要件は、CMP情報伝達の必要業務として、基本的なCMP情報伝達の流れを満たす「基本業務要件」と、各業務においての変更要素やセクター別の要件などを確認する「個別業務要件」に分類されます。

（1）基本業務要件：CMPの製品化学物質の情報伝達において必須となる業務要件

業務要件		概要
1	事業者登録	CMPへの参加のための事業者登録、事業者ID受領
2	製品登録	CMPでの伝達対象となる製品のアプリへの登録
3	調査依頼	登録された製品に対しての調査依頼
4	調査依頼への回答	調査依頼を受けた製品の成分情報の回答
5	物質リスト改定に伴うフラグ伝達	コンソーシアムから発行された物質リストの改定に伴い、改定により追加された物質等の状況をフラグで伝達
6	物質リスト改定に伴う成分情報伝達	コンソーシアムから発行された物質リストの改定に伴い、物質リストバージョンに沿った、成分情報の回答（5で含有変更ありの場合）
7	要申告候補物質のフラグ伝達	コンソーシアムから発行された「要申告候補物質」に関する情報のフラグで伝達

※フラグ伝達（STEP 5,6,7）のイメージ



検証する業務要件 (2/2)

(2) 個別業務要件：特別な事情で発生する業務要件

分類	業務要件	
1	業務変更	製品構成情報の変更・削除
2		成分情報の変更削除
3		調査依頼内容の更新・取り消し
4		回答情報の差戻し
5		調査依頼に対する回答辞退
6		取引関係の削除
7	セクター別業務	セクター・ジャンル伝達
8		違法判断フラグ伝達
9		一般物質の新規登録
10		chemSHERPAの取り込み・CMPデータへの変換
11		CMP登録データのchemSHRPAフォーマットへの出力

(3) アプリの個別仕様：業務支援など、 アプリによって個別に提供される仕様

CMP共通ではないが、各アプリが個別に有している機能についても確認可能です。

※6月以降に実施可能 ⇒ 5月末に各アプリの個別仕様要件公開予定

5. アプリケーションの選択について

アプリケーション選択について

各アプリの提供機能は以下の通り。自社の利用形態を考慮して、アプリケーションの初期選択をお願いします。

	適用分野（※1）		提供形態	補足
	化学品	成形品		
Sotas	○	×	クラウド	
NEC	○	○	クラウド	
富士通	×	○	オンプレ	※2
dotD	△	△	クラウド	2026年6月以降（予定）

※1) 2026/3/末～大規模実証開始時の
機能提供範囲による

※2) 仮想デスクトップ方式での接続環境を準備
(詳細は、次ページ参照)

お申込み頂く際にご連絡の初期選択アプリケーションから検証頂きますが、実証期間内で必要に応じて
自社運用可能なアプリケーションを追加検証頂くことも可能です。
尚、詳細は次ページの問合せ先へご確認をお願いします。

(ご参考) 大規模実証における各アプリケーションの動作環境

アプリの利用に当たっては、アプリの利用領域の確認と合わせて、各社IT部門とご相談いただき、各社の利用の必要な条件をご確認ください。なお、利用環境の構築が必要な場合がありますので、アプリベンダーの窓口とコンタクトいただき、必要に応じて利用環境構築をお願いします。

アプリベンダー	アプリの利用領域	利用環境	利用にあたり必要な条件	その他	窓口
Sotas	化学品全般	Webブラウザ (SaaS (クラウドサービス) での提供)	<p><クライアント環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ・OS : 最新版の Windows, macOS ・ブラウザ : Microsoft Edge, Google Chrome (最新Versionに対応。それ以外も動作保証外ですがアクセス自体は可) ・画面解像度 : 1920×1080以上を推奨 <p><その他要件></p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットに接続できドメイン (https://cr.sotas.com、https://clerk.cr.sotas.com、https://cr-api.sotas.com) にアクセスできること ・cr.sotas.comから受信可能なメールアドレスが利用可能であること (ログインアカウントはメールアドレス単位) ・二要素認証を行う場合はSMSもしくはAuthenticatorアプリが利用できる端末を利用可能であること 	<p>以下の日時につきましては、メンテナンスに伴い、利用不可予定となります。</p> <p>①毎週金曜17時～翌週月曜8時</p>	mk@sotas.co.jp
NEC	化学品から成形品全般	Webブラウザ (SaaS (クラウドサービス) での提供)	<p><クライアント環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ・OS : Windows11 ・ブラウザ : Microsoft Edge, Google Chrome ・画面解像度 : FHD以上を推奨 <p><その他要件></p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット接続でき、ドメイン (https://proc.nec.co.jp) にアクセスできること ・メールが受信できること(ログイン時、ワンタイムパスワードをメール通知します) ・ご利用にあたり、グローバルIPアドレスを弊社までお知らせいただく必要があります (セキュリティ強化の観点から、IPアドレスによる接続制限があります) 	<p>②4/24 (金)、5/29 (金)、6/26 (金)、7/31 (金)、8/28 (金) 10時～翌週月曜8時</p>	ecosol@office.jp.nec.com
富士通	FA*から成形品全般	クライアントAP (オンプレでの提供)	<p><u>ご利用形態①</u></p> <p>提供形態：仮想デスクトップ形式 提供内容：自PCから富士通社にて準備をした仮想デスクトップ環境にリモートデスクトップ接続を使用して接続し、仮想デスクトップ内にインストールをされているクライアントソフトを使用</p> <p>本ご利用形態で利用いただける企業様の数は弊社で準備可能な環境数に限りがございますので、別途詳細が決まり次第ご案内させていただきます。</p> <p><u>ご利用形態②</u></p> <p>提供形態：自PC内にアプリケーションをインストールして使用 サーバー/クライアントは各企業様にてご用意いただく事を前提としております。</p> <p><サーバー環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ・OS : Windows Server2022 ・メモリ : 16GB以上 ・DB : Oracle Database19c ・ブラウザ : Edge (chromium版) ・必須ミドル : .NET Framework 4.8以上 <p><クライアント環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ・OS : Windows 11 (タブレットを除く) ・メモリ : 8GB ・ブラウザ : Edge (chromium版) ・必須ミドル : .NET Framework 4.8以上 ・Cドライブ直下に書き込み権限必要 ・サーバーとの通信 : http(80)、WCF(50511など)、FTP(20/21,PSV) 		fj-ecod_contact_CMP@dl.jp.fujitsu.com
dotD	化学品から成形品全般	Webブラウザ (SaaS (クラウドサービス) での提供)	<p><クライアント環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ・OS : Windows/mac ・ブラウザ : Google Chrome (推奨)、Microsoft Edge (原則最新Verionに対応。) ・画面解像度 : 1280 × 720以上を推奨 <p><その他要件></p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットに接続できドメイン (https://cmp-navigator.com)にアクセスできること ・メールが受信できること 		info.cmp-navigator@dotd-inc.com

*) FA (First Article) :最初の成形品（固形化されたそれ以上化学変化を起こさないもの）

6. 事前準備について

事前準備について

(1) 利用アプリの環境構築（2月下旬以降）

2月下旬以降にアプリベンダーから接続テストのご連絡をいたします。また、セキュリティチェックなどの必要があれば、アプリベンダーへのご依頼をお願いします。

(2) テストシナリオの検討、テストデータ（製品情報、成分情報）の準備

テストしたいシナリオの検討、自社でテストしたい製品、成分情報がある場合は事前のピックアップをお願いします。

(3) 取引先と共同で実証する場合

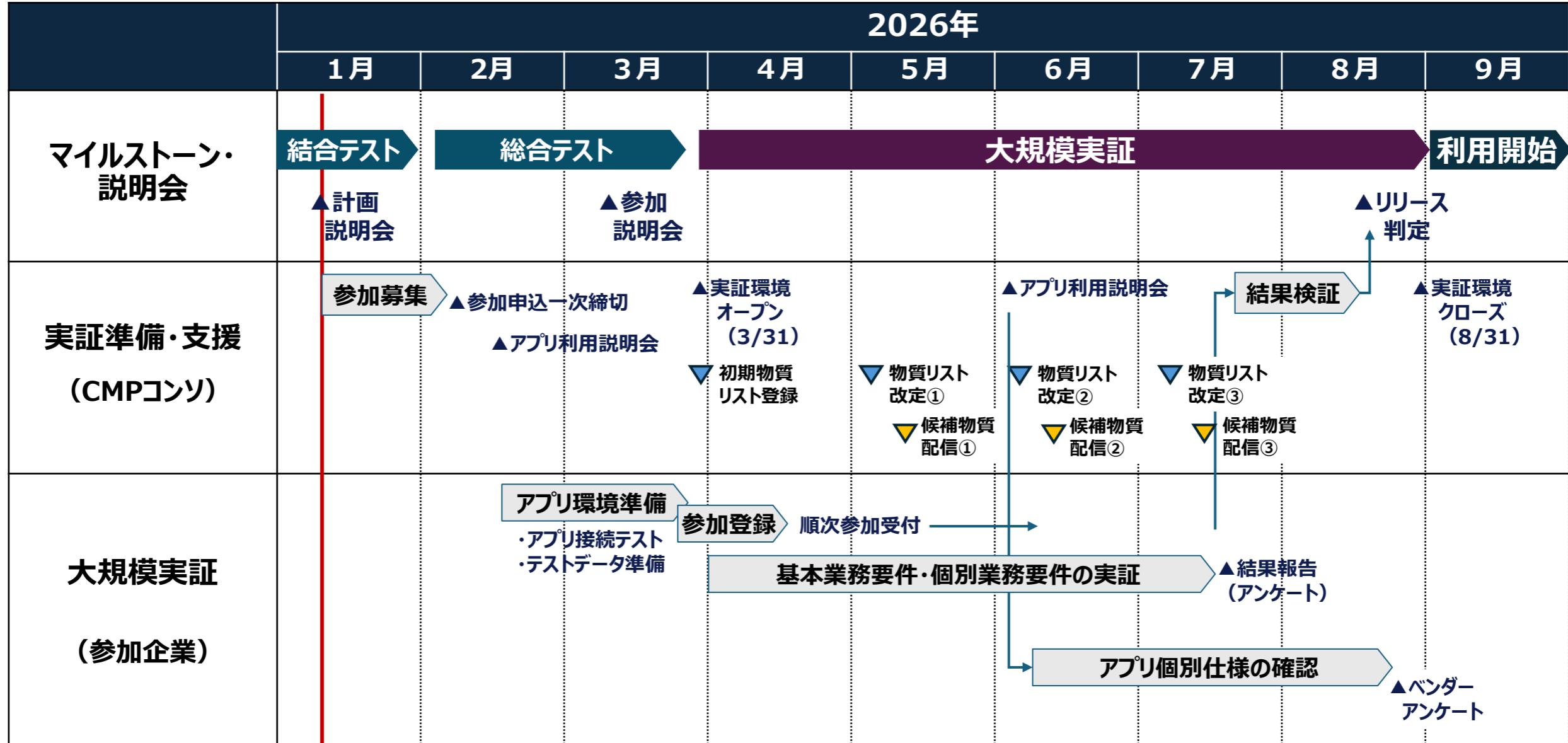
・取引先とのサプライチェーン関係構築

取引先へのお声がけをお願いします。取引先が大規模実証申し込みを行っていない場合、貴社経由での参加申込をお願いします。申込時に取引先と参加とチェック頂いた方へ、別途ご案内いたします。

7. 大規模実証スケジュール

大規模実証スケジュール

CMPコンソーシアムにて実証環境を準備し、5月から物質リスト改定を毎月実施します。



8. 參加申込要項

参加申込について

申込フォームから参加申込をお願いします。（コンソーシアム会員以外でも参加可）1月30日（金）15:00締切り

申込URLはこちら→ <https://tayori.com/form/ffe5bc6a14ba5f50327acbd0fb2b14bb5652db6c/>

2. 主要製品事業におけるサプライチェーンでの位置づけ（参加されるポジション）*

- (1) 化学品製造
- (2) 材料（樹脂・金属）製造
- (3) 部品製造
- (4) 加工・組立
- (5) 最終製品（川下）
- (6) 商社（化学品・材料）
- (7) 商社（部品・ユニット）
- (8) その他

(8) その他 を選択された方はこちらに記入ください。尚、ITベンダーやコンサルティング、教育事業者の方はアプリベンダーからお断りが入る可能性があります。

設問の回答を入力してください

4. 大規模実証に参加する場合の参加形式*

- ①コンソーシアムと連携して参加する
- ②取引先と共同で参加し、実務で検証する
- ③当初①で参加し、②に移行する

5. 参加時点を利用するアプリケーションのベンダー*

- NEC
- 富士通
- Sotas

※大規模実証中間頃から、複数アプリを利用し比較する事は可能です。

6. 大規模実証へのご要望

設問の回答を入力してください

必要に応じて適時、大規模実証に反映させていただきます。

7. 大規模実証についてのご質問

設問の回答を入力してください

3. 大規模実証時に他の参加企業とのやり取りを希望する場合、1の会社名と2のポジションを参加

企業内で開示していただく必要があります。開示されますか？*

- 開示可能
- 開示不可

9. Q&A

お時間頂きありがとうございました。



問合せページ <https://cmp-consortium.com/help>